



九州西部の海は、世界でも稀に見る興味深い海。

大都会が間近にありながら、

クロマグロなどの回遊魚が産卵し、カブトガニがうごめいている。

でも、この海の豊かさが危機に瀕していることはあまり知られていない。

このままでは、九州沿岸地域の人々にも影響が及ぶかも。。

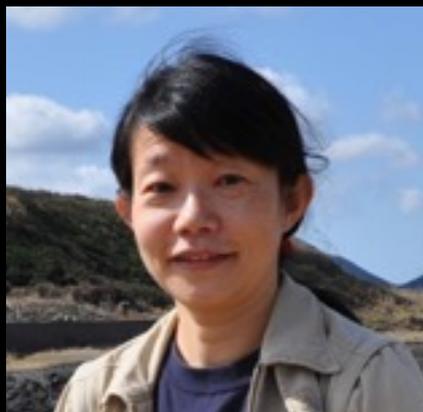
今回は、九州の西の海の恵みと危機に迫ります！

- <日 時> 平成27年8月7日(金) 19:00～21:00 (18:45開場)
- <会 場> BIZCOL | **交流ラウンジ** (福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 電気ビル共創館)
- <対 象> みなさま ※特に知識などは必要ありません。気軽にご参加下さい
- <参加費> 500円
- <定 員> 40名 (定員になり次第締め切り)
- <主 催> 公益財団法人九州経済調査協会 BIZCOL |
- <企 画> サイエンスパークふくおか
- <協 力> 九州大学 素粒子実験研究室、産学官連携本部 <後 援> 福岡県

<講師>

清野 聡子 准教授

九州大学大学院工学研究院環境社会部門



東京生まれ、神奈川育ち。3歳で海岸と河川の現地踏査と動植物と石の採集と観察を開始。現在もほぼ同じ手法で研究教育を行う。小学生時代に肥後の石工の本を読み九州に憧れる。高校の修学旅行は阿蘇と長崎、学生時代の旅行は宮崎や天草など。さらに東京大学助手時代の調査研究で、カブトガニで大分の干潟に、海岸環境で長崎の島々にはまってしまう。調査地が埋め立てにあう状況下で、生息条件に研究対象をシフト。河川や海岸の法改正に遭遇し、社会制度、自然の管理や合意形成にも興味を持ち、草の根から政策までの実践（実戦？）活動を行う。現在は、人類もふくむ水辺の生物の生息地や餌を研究。2010年より現職。自然保護に集中していたら何故か土木工学の教員になっていた。地域の知恵と科学の関係に注目。九州は自然も歴史・文化も最高に面白いフィールド！

<お申し込み方法>

下記を記入しFAX（092-721-4908）いただくか、
BIZCOLIのHP（<http://www.bizcoli.jp>）のフォームからお申込ください。

お名前 :

住所 :

電話番号 :

メール :

<お問合せ先>

九州経済調査協会・BIZCOLI 担当 祭城・瀬口・古賀
福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館3F
電話：092-721-4909 / FAX：092-721-4908

<アクセス>

西鉄電車：西鉄天神大牟田線「薬院駅」より徒歩5分

西鉄バス：「博多駅前A番」停留所より乗車→「渡辺通1丁目」停留所
降車すぐ
「天神大丸前4C」停留所より乗車→「渡辺通1丁目」停留所
降車すぐ

タクシー：JR博多駅より7分、福岡空港より25分

地下鉄：七隈線「渡辺通駅」降車(電気ビル本館B2Fへ直結)

